



消防団【消防出初式】



1 / 盛岡地区広域消防組合消防本部石井健治消防長に敬礼する工藤団長
2 / 統監による観閲を受ける消防団員と婦人消防協力隊員
3 / ラッパ隊の演奏による分列行進



地域を守る活動と 私たちにできること

安心して安全に暮らす。そんな当たり前の日常を守るため、多くの人たちが活動を続けています。本号では、消防団、交通指導隊、防犯隊に焦点を当てて、活動を紹介。インタビューでは、それぞれの活動への思いや日ごろから住民に気を付けてほしいことを届けます。

小さな不注意をきっかけに降りかかる災いは、決して他人事ではありません。地域を守る活動を続ける人たちのほかに、私たちにもできる日常の取り組みが、安心安全なまちづくりにつながります。

交通指導隊【合同初点検】



1 / 装備品の点検を受ける隊員
2 / 事故を未然に防ぐ普及啓発活動の重要性を説く田村市長
3 / 八重樫隊長に敬礼する隊員



防犯隊【合同初点検】



1 / 引き締まった表情の隊員一同
2 / 防犯隊と警察の水平連携への感謝とより一層の強化を熱く語る岩手警察署藤林隆博署長
3 / 活動の安全を願い市交通安全協会田村孝会長と共に万歳三唱する隊員



消防出初式 交通指導隊・防犯隊合同初点検

今年も八幡平市消防団、婦人消防協力隊、交通指導隊、防犯隊の活動が始まりました。安心安全のまちづくりに向け気を引き締め、おのおのが決意を新たに一年の活動を開始しました。

◎消防出初式

令和3年市消防出初式は1月3日、市役所本庁舎前で消防団(工藤民一団長)団員231人、婦人消防協力隊(石田美枝子隊長)隊員48人が参加し挙行。市、市議会などの関係者100人と一般観客が見守る中、参加者全員と消防車両40台が約500メートルを力強く分列行進し、威風堂々とした姿を披露しました。

工藤団長は「火災のみならず、自然災害から地域住民の尊い生命、財産を守るため、我々消防団は訓練に励み、日々研さんに努めることが重要。団員各位には、郷土愛の精神と相互扶助・結の心を持ち、地域防災の要として、消防防災の任に当たっていただきたい」と訓示して団員を鼓舞。最後は参加者全員で万歳三唱し、一年の無火災、無災害を願いました。

◎交通指導隊・防犯隊合同初点検

1月10日には令和3年市交通指導隊(八重樫俊則隊長・防犯隊(館柳勝彦隊長)合同初点検が市役所多目的ホール棟で行われ、両隊の隊員、防犯・交通安全関係者ら78人が出席。田村正彦市長は「交通事故や特殊詐欺は、高齢者被害が多い傾向にある。隊長を中心に、一致団結した活動を期待する」と激励しました。

両隊を代表して、交通指導隊の八重樫隊長は「昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、交通安全や防犯を啓発する機会が非常に少ない一年だった。市内では4件の交通事故死亡事故が発生し、尊い人命が失われてしまい非常に残念でならない。交通事故防止や地域安全対策の啓発活動に、更に努めなければならない」とより一層の尽力を誓い、隊員の士気を高めました。

活動する人たちの声

体力が必要なことも多く、活動は休みの日や朝早かったり夜遅かったりと大変なことも多いはず。けれども皆さん笑顔で活動しています。

そんな皆さんから、普段どんな活動をしているのか、私たちの暮らしの中で、どんなことに気を付けてほしいと感じているのかをインタビューしました。

私たちを守ってくれている皆さんの声を聞いてみましょう。



消防団
第4分団団員

田村 海登 さん(24)
=野口=

自分の成長にもつながる活動 消防団を通じて地域を守りたい

普段は主に夜警(火災予防広報)で不審火や異常の見回り、注意喚起をしています。入団する前は自分に務まるか心配もありましたが、頼れる先輩方の丁寧な指導のおかげで、少しずつできることが増え、やりがいにつながっています。地域の人から「いつもありがとう」と声を掛けられることが多く、住民の消防団への期待を感じています。入団してから普段話す機会が無かった人との交流が増え、自分の成長につながっていると実感しています。

市民の皆さん、コロナ禍で在宅時間が増えていることと思います。料理や時節柄暖房などで火を使う機会が多くなっていますので、火元の管理には十分気を付けましょう。



交通指導隊
隊員

堀江 幸子 さん(72)
=豊畑=

大変でも活動を続けるのは 地域住民を事故から遠ざけるため

普段は巡回広報や街頭指導で交通マナーの順守を呼び掛けるほか、行事の交通誘導や小中学校の交通安全教室などを行っています。入隊当時は分からないことだらけでしたが、頼りになる先輩に支えられ、実際に動いて覚えようと奮闘しながら、これまで活動を続けています。冬の時期の活動はとにかく寒く大変ですが、住民から「ごろうさま」と感謝の言葉を掛けてもらうと、苦勞も吹き飛びます。

交通事故防止には車、自転車、歩行者それぞれの注意が必要です。車は速度を守って早めのライト点灯。自転車は左側通行。歩行者は光が反射するものを着用。それぞれの立場で、周りをよく見ることが大切です。



防犯隊
西根地区隊長

岩井 寿朗 さん(52)
=館腰=

愛着あるこの土地を守るため 知識を深め実践し犯罪を未然に防ぐ

地域見守り隊として、週2回防犯車でパトロールをするほか、祭典行事の防犯警備で、すりやトラブルを防いでいます。犯罪抑止への知識を深めるため、防犯研修会などに参加し、得た知識を実践しています。

市民の皆さん、犯罪は市内でも発生しており、他人事ではありません。次の2点は特に注意が必要です。1つ目は施錠。家、物置、車、自転車、農機具までしっかり鍵をかけてください。2つ目は、高齢者を狙う成り済まし詐欺電話。怪しい電話は、一人で抱え込まず警察や家族に相談しましょう。盛岡から移住した私ですが、長く暮らしているのとて愛着があります。安心して住みやすい八幡平市をみんなで守りましょう。

災いを知り、難を避ける

市で昨年起きた火災や交通事故、刑法犯(刑法などの法律に規定する犯罪)の件数は次のとおりです。一人一人が注意すべき事項を知り、対策することが被害を減らす第一歩になります。

◎火災

8件の火災、7件の火事騒ぎが発生。

【注意事項と対策】

- ▼ストーブ付近での衣類乾燥 ストーブ周辺に物を置かない。外出時、就寝前は消す。
- ▼コンロの消し忘れ 火を使う料理中はキッチンタイマーを使い、コンロの周囲に物を置かない。消し忘れ防止装置付きのコンロに替える。
- ▼野焼き 水やスコップなどの消火用具を用意し、乾燥、強風時には焼却しない。焼却中はその場を離れない。

◎交通事故

人身、物損合わせて461件発生(負傷者33人、死者4人)、飲酒運転が1件発生。

【注意事項と対策】

▼薄暮時間帯(日没時刻前後1時間) ドライバーから見て右からの横断

者、歩行者から見て左からの車の走行は特に注意が必要。車はライトを早めに点灯、歩行者は反射材を着用して互いに存在をアピール。

▼信号の無い交差点 出会い頭の事故や自転車、歩行者の飛び出しに気を付ける。

▼飲酒運転 飲酒で脳の働きが鈍くなることを理解し、ハンドルキーパーや代行などで帰宅する習慣を付ける。

◎刑法犯

窃盗や万引きなどが28件発生。特殊詐欺被害(架空料金請求)が1件発生。

【注意事項と対策】

▼玄関や窓の施錠忘れ 鍵を施錠する都度、声出し、指差し確認。

▼金銭やキャッシュカードをだまし取る詐欺電話 うのみにせず警察、家族に相談。一度電話を切って本人にかけ直す。ナンバーディスプレイ機能のある電話に替える。

私たち一人一人にできること

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、現在も勢いが衰えません。この状況がいつまで続くかの見通しも難しく、市民の皆さんも不安な日々を過ごしていることと思います。消防団、交通指導隊、防犯隊も例年通りの活動は難しく、住民にそれぞれの注意喚起をする機会も大きく減ってしまいました。

そんな今だからこそ、私たち個人にできる「災いを未然に防ぐ行動」が重要です。市内で実際に起きた災いを知り、自分の普段の行動の見直しにつなげましょう。

原因を知り、対策をとることで、防げる災いがあります。安心安全に暮らすため、地域を守る活動を続ける人たちに感謝の気持ちを持ちながら、私たちにできる対策を行動に移してみませんか。

